

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	2	(事業所と地域との付き合い) コロナ禍が長引く中、地域の各種活動も中止が相次ぎ、今後も予断を許さないが、収束後の活動再開をどの段階でどのように考えるかが課題	コロナの状況を見据えて、より安全な交流から段階的に地域活動を再開して以前のような地域に寄り添った活動をしていく。	2021年7月によく自治会長の許可を得て、当事業所の代表が自治会定例会に参加。当面は自治会長と調整をしながら少人数での行事参加を模索する。	12 か月	
2	4	(運営推進会議を活かした取り組み) コロナ禍が長引く中、運営推進会議を従来のように開催できず、各代表者(家族、自治会、いきいきセンター)への書面紹介で会議実施としている。照会の際、お知らせや意見を頂くようにしているが情報は一方的になっていることは否定できない。	コロナの状況を見据えて、安全に開催できるような状況になれば当事業所で地域に貢献できる提案や活動をしていく。また、現状できる貢献をやっていく。	運営推進会議の報告書は以前より福岡市に報告するのみだったが、外部評価での指摘により、今後は近況が確認できていない家族にも取り組み状況、近況報告として送付する。	12 か月	
3	10	(運営に関する利用者、家族等意見の反映) コロナ禍が長引く中、家族会など直接現状を見て意見を頂く機会が少なくなっている。面会は制限を設けて許可しているが、面会者は減っている。ご家族に施設の状況や入居者様近況をお知らせしたり、意見を頂く方法を考えなければいけない。	コロナの状況を見据えて、安全に開催できるような状況になれば家族会の再開を進めていき、意見交換の場としていく。現状ではほかに入居者や入居者の家族の意見や要望を表せる機会を作り運営に反映させる。	面会が多い家族からは都度意見を聞く。また、面会が少ない入居者の家族から特に意見や要望を頂く機会として、入居者のイベントの写真などを同封したお便りを送付する。	12 か月	
4	8	(権利擁護に関する制度の理解と活用) 現在、成年後見制度や日常生活自立支援事業を利用されている入居者がいないため、制度活用に関し認識が薄い。スタッフの学ぶ機会を作り理解を深める必要がある。	日常生活自立支援法、成年後見制度など権利擁護の精度の理解が深まり、権利擁護の意識がスタッフに根付く。	講師を頼んだり、スタッフ研修で取り上げる。また、わかりやすい資料やDVDでスタッフの理解の深化を図る。	6 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()